

神足橋から大門橋の 土手に防犯灯を

日本共産党
住田 初恵



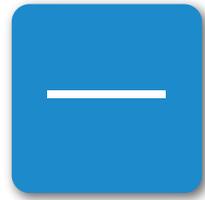
■防犯灯のない小畑川堤防

問（議員） 小畑川右岸の神足橋から大門橋の河川管理用通路は通学路にもなっているが、街灯がなく夜は真っ暗になり危険である。防犯灯の設置を以前から要望しているが、堤防のり面には構造物を立てられないとのことで、設置されていない。電気工事業者によれば、のり面でなく、底地であれば設置可能ではないかと聞いた。子どもを守るためにも、防犯灯の設置はぜひとも必要と考えるが市の見解は。

答（市側） 堤防の定規断面を侵す構造物の設置は、基本的に占用許可を得ることはできない。底地への設置では、通常よりも長い支柱の防犯灯が必要で、基礎もより大きくなり、さらに定規断面を侵す可能性があるため、占用許可を得るのは非常に難しい。土手外側の民地に設置する場合も、所有者の承諾が必要のため非常に難しいが、引き続き管理者である京都府との協議も含め、検討していきたい。

その他の
一般質問

幼児教育・保育の「無償化」について



6月定例会では、18名の議員が行政全般について、執行機関に対し、さまざまな角度から質問しました。
この度は、その質問の一部を掲載します。

ごみの減量と 最終処分場の今後は

日本維新の会と市民派の会
小谷 宗太郎



■乙訓環境衛生組合

問（議員） ごみの最終処分場は、フェニックス埋立処分場と勝竜寺埋立地がある。フェニックス埋立処分場は、フェニックス計画の延長等により、現状の処理形態のまま約30年間、勝竜寺埋立地は、容量が後16年程度確保できるが、最終処分場の延命をいかにして図るかが最大の課題である。ごみの総量減量の他にもいろんな手だてができると思うが、今後の最終処分場とごみの減量に対する市の考えは。

答（市側） 新たな埋立処分場の設置は、非常に困難であるため、現在の勝竜寺埋立地やフェニックス埋立処分場を長く大切に使うことが重要と考える。そのためには、排出者である市民や事業者がともに連携しながら、さらなるごみ減量施策に取り組むことが大切である。次期処理基本計画や処理施設整備基本構想を策定していく中で、しっかりと最終処分場や処理施設の整備について、検討していきたい。

その他の
一般質問

子育て支援事業について

保護者に伝えるべき 情報はなにか

日本共産党
広垣 栄治



■感染予防に手あらいを

問（議員） O・157の感染事案では、3月に1名が感染していたことや、4月に感染していた3名の病状など、真っ先に保護者に伝えるべき情報が伝わっていないことは問題である。プライバシーの保護もあるが、感染者が1名の場合でも市内の保育所や幼稚園、小中学校の保護者や関係者に情報を伝えることで注意喚起にもなり、感染予防につながるのではないかと考えるが市の考えは。

答（市側） 感染された方が特定されるような情報や病状などの詳細については、プライバシーや個人情報保護の観点から一部公開を控えさせていただいた点がある。その結果として、保護者にご心配をおかけした面があることは認めないと認識している。今回の事案を教訓とし、1名の感染でも伝えるべきかどうかについて、感染症情報を提供している乙訓保健所などと協議、検討していきたい。

その他の
一般質問

中小企業振興条例について

竹寿苑の整備改善について

日本共産党
二階堂 恵子



■竹寿苑

問（議員） 竹寿苑は施設が古いため、トイレは和式が多く、緊急呼び出しベルも設置されていない。利用者が安心、快適に利用できるように、施設の改善が必要である。竹寿苑は、新施設へ移行する予定であると聞いているが、まだ何年も利用することを考えれば、通常の修繕だけでなく、計画的改修が必要と思うが市の見解は。

答（市側） 竹寿苑の施設の設備改修については、移転までの期間も現状の施設設備を維持するため、必要に応じて修繕を行っている。トイレの改修、緊急呼び出しベルの設置などは、構造や配線等の改修も影響することから、それぞれの費用等を算出し、緊急性や必要性等も考慮しながら検討していきたい。また、計画的な改修も、利用者が快適に過ごすためには必要であるため、来年度までに策定予定の竹寿苑の個別施設計画で整理していきたい。

その他の
一般質問

土砂災害警戒区域周辺住宅、住民の避難対策を/住宅開発が進む長岡第五小学校の大規模化対策を/放課後児童クラブ正規指導員の配置について

有害鳥獣被害の防止に向けて

平成自由クラブ
小野 洋史



■防護柵の点検

問（議員） 本市の農業では、約15年前からイノシシ、シカ、カラスによる深刻な有害鳥獣被害を受けている。被害による金銭的損失もあるが、農家の方の栽培意欲の喪失など、本市の農業に与える影響は深刻である。本市が設置した防護柵は、職員や農家組合による維持管理で適正に機能しているが、西山キャンプ場以北の京都市管理の防護柵は、破損箇所が数カ所あり、被害の原因となっていると考える。防護柵全体が機能するような対策について市の考えは。

答（市側） 本市と隣接する防護柵を管理する京都市西部農業振興センターへは、防護柵の適切な保全と維持管理について、地元への指導と支援を毎年依頼している。昨年の台風による被災箇所についても復旧依頼をしたが、現時点でも復旧に至っていない。京都市と連携した広域的な防護柵の維持管理のため、今後も京都市への働きかけを続けていく。

その他の
一般質問

観光振興に関して

神足保育所民営化への保護者の参画は

日本共産党
小原 明大



■神足保育所

問（議員） 神足保育所の民営化についての保護者説明会の中では、保護者から、仕様書の策定や保育事業者の選定に関わっていきたいとの要望が出ている。保育とは、保護者の積極的な理解と関与があつて初めて有意義なものになると考える。アンケートでの意見等の収集ではなく、市の設置する委員会などにも複数の保護者に参画していただく必要があると考えるがどうか。

答（市側） 業者選定の公募に係る仕様書については、市で仕様書の家を策定したあと、保護者や児童対策審議会に示し、そこで出た意見等を反映させていきたいと考えている。また、業者選定についても、児童対策審議会の委員として連合保護者会の代表に参画していただいているように、保護者の代表の方にも参画していただき、意見をいただければと考えている。

その他の
一般質問

上下水道行政について/市職員の処遇改善について

一般質問ってなに？
一般質問とは、**行政事務全般**について、議員が疑問に思ったことなどを質問することです。
議案とは関係なく、**自由に質問できる**ことが特徴です。
ぜひ、傍聴にもお越しください。



馬場1丁目交差点の歩行者の安全対策は

平成西山クラブ
田村 直義



■馬場1丁目交差点

問（議員） 痛ましい交通事故のニュースに触れるたびに、安全対策の必要性を強く感じる。本市では、変則で交通量の多い馬場1丁目交差点が、歩行者にとって非常に危険な状況だと認識されている。馬場1丁目交差点の短期的で即効的な対策として、ガードレールやポールの設置など、できることから着手すべきと考えるが、市の見解は。

答（市側） 大津市での事故を受けて、馬場1丁目を含む主要な交差点5カ所について、向日町警察署とともに行った現地調査で、安全対策の検討を行い、ガードパイプなどの施設設置や、交差点内の路面標示の追加など、安全対策案を作成している。現在実施されている保育園、幼稚園など未就学児施設等の施設外活動コース等の安全点検調査結果と合わせて、関係機関と協議、調整を行い、緊急度、優先度を見定め、計画的に対応していきたい。

その他の一般質問

スポーツ振興に関して/駐輪場に関して

家族介護者リフレッシュ事業の今後は

平成西山クラブ
白石 多津子



■家族介護者リフレッシュ

問（議員） 在宅介護は、介護する方の負担をいかに軽減するかが重要であり、行政からの支援が必要と考える。本市でも、家族で介護に携わる方を支援するため、介護から一時的に離れ、心身のリフレッシュを図る家族介護者リフレッシュ事業を実施している。平成31年4月に地域支援事業の実施要項が改正され、家族介護支援事業として、家族介護者リフレッシュ事業の適用要件が見直されたと聞く。国の要綱改正を受け、市として、この事業をどのように充実した内容にしていこうと考えているのか。

答（市側） 今年度は、国の適用要件に合わせて実施することになっているが、家族介護の支援や負担の軽減は、非常に重要なことと認識している。今後は、介護をされている方がより利用しやすく、心身ともにリフレッシュでき、効果的なものとなるよう、事業内容や適用要件について検討していきたい。

その他の一般質問

買物弱者対策について/乳幼児期における親と過ごす時間の育ちへの影響について

～この言葉ってどういう意味?～ 語句解説コーナー



フェニックス計画

廃棄物の最終処分場の確保のため、臨海部に発達した大都市とその後背地を含めた広域圏に、複数の自治体が共同で利用する広域処分場を整備し、廃棄物の収集・処理・処分を行うとともに、埋立跡地に大規模な人工島を造成する計画です。

インセンティブ

意欲向上や目標達成のための刺激策で、人々の意思決定や行動を変化させるような要因の1つです。

O-157

病原性大腸菌のうち、腸管出血性大腸菌の一種です。人や動物の体内に侵入すると、タンパク質の一種であるベロ毒素を放出し、激しい下痢や腹痛を起こすことがあります。

AI

人工知能を意味する「Artificial Intelligence」の略語です。人間が持っている学習・推論・判断などの能力をコンピューターでも可能にするための技術の総称です。

保育所の入所選考にAIの導入を

輝(かがやき)
富田 達也

保育所選考にAI導入
→選考待ちが短期間に
→職員の生産性向上



■AI導入による効果

問（議員） 保育所の入所選考作業は、申し込みから選考発表まで2カ月以上かかっており、保護者からはもう少し早く発表できないのかという声がある。他市ではAIを取り入れることによって、非常に短い時間で選考作業を終えることが可能となっている。保護者ニーズを満たすために、迅速な保育所入所選考作業を実施すべきであり、AIの選考システムを導入すべきと思うが、市の見解は。

答（市側） 選考期間の短縮や、職員への負担軽減等の状況を踏まえると、AIなどの先端技術の導入は、大きな効果が期待され、選択肢の1つとして認識している。システムの導入については、経費や付加機能の有無等、導入による効果等については、調査研究を行っていきたい。また、このような技術は、さまざまな事務作業等で活用できる可能性があるため、全庁的な利活用についても研究していきたい。

その他の一般質問

補助金のあり方について

長岡天神駅周辺整備 の進め方は

平成市民クラブ
三木 常照



■報告会の様子

問（議員） 今年3月に阪急長岡天神駅周辺整備基本計画が策定され、全体計画とともに将来のイメージが示された。今後の整備に向けて、今年度は土地区画整理事業の調査に着手することであるが、昭和32年に都市計画決定された広範囲な事業区域を、基本計画に沿って見直すことは必須であると考え、地権者との合意形成は、どのように取り組むのか。

答（市側） 今年度は、基本計画の内容を知っていたことを目的に、駅周辺の地域を14エリアに分割して報告会を行っている。報告会終了後は、各エリアに合ったテーマで意見交換会や意向調査を実施していく。土地区画整理事業に関しては、土地・建物所有者等や、関係機関の意向を聞き、関連事業との整合性を考慮しながら、施行区域の見直しを検討していく。また、自分たちのまちづくりは自分たちで考えていくといった機運の醸成も図っていききたい。

その他の
一般質問

上下水道ビジョン(経営戦略)に関して

〇・157感染における 保護者への対応は

日本維新の会と市民派の会
西條 利洋



■保育所のイメージ

問（議員） 滝ノ町保育所での〇・157の感染について、4月18日に一人目の児童の感染が乙訓保健所から市に報告された際、手拭タオルをペーパータオルに切り替えたとのことだが、保護者には〇・157の説明はなかった。確かに、一人目の感染報告であれば、園外感染も考えられるが、保育所で感染者が出れば、市は、何よりも優先して保護者に報告するべきではなかったのか。

答（市側） 一人目の感染を確認後、乙訓保健所と連絡を密にししながら、感染の拡大防止に向けてタオルの切り替えや消毒などの対応をした。下痢や嘔吐で休んでいる園児もいたが、〇・157との確認がされていない状況のもとで、感染拡大の判断ができず、一人目の時点では保護者への報告は控えた。しかし、二人目の感染が確認された段階ですぐに保護者説明会を開催し、感染に係る概要を報告させて頂いた。

その他の
一般質問

まちづくり協議について

健康なまちづくりへの 今後の展開は

平成市民クラブ
中小路 貴司



■アプリ「あるくと(aruku&）」

問（議員） 歩くことは健康づくりの基本であり、歩くことで身体活動量を維持し、健康増進の効果が得られることは、さまざまな研究で示されている。日々の暮らしにおいて、まちを歩くことは、健康増進効果のみならず、さまざまな交流の機会の増加や、コミュニティ活動の促進における地域活力が向上し、また、多くの人々がまちを歩くことで、さらに歩く市民がふえるという好循環をもたらす。本市の健康なまちづくりについての今後の展開を問う。

答（市側） 健康マイレージ事業のインセンティブの報償品として、商店での割引や協賛品などの協力を呼びかけ、まち歩きを楽しむ仕組みと連動させ、市内の商店などのPRや、まちの活性化も目指したい。健康マイレージ事業の展開をきっかけに、地域や関連部署との連携をさらに深め、健康で活気あるまちづくりをしていきたい。

その他の
一般質問

魅力発信に関して/子どもの体力に関して

議員政策研究会

「性の多様性社会研究分科会」が発足

LGBTをはじめとする、性の多様性への理解をより深めるため、令和元年6月に議員政策研究会性の多様性社会研究分科会を発足しました。性の多様性について研究していきます。

分科会委員名簿

会長	富田 達也		
副会長	小原 明大		
委員	西條 利洋	寺嶋 智美	
	宮小路康文	住田 初恵	
	白石多津子	浜野 利夫	
	小野 洋史	石井 啓子	

3月中旬の〇-157 感染への対応は

公明党
石井 啓子



■感染症対策の見直しを

問（議員） 抵抗力が弱く身体の機能が未熟な乳幼児が集団生活をしている保育所などの場においては、感染の拡大が懸念されるため、感染拡大防止が最も重要である。そのため、保育所の全職員が情報を共有し、速やかに保護者に感染症名を伝える必要があったと考える。3月中旬に園児の感染を確認した時、保健所・市・保育所では、どのように情報を共有し、どのような流れで動いたのか。

答（市側） 3月中旬の感染に関しては、保護者から保育所に連絡があり、園児1名が感染したことを確認し、市役所と連絡を取り合っていた。保育所では、職員間で情報共有を図るとともに、感染症対応マニュアル等に沿って衛生管理に努めていた。乙訓保健所は、医療機関からの報告を受け、感染された園児の家族への健康調査や感染予防の指導をはじめ、感染源や感染経路などを調査されていた。

その他の
一般質問

学校施設等における空調設備について

避難情報と警戒レベルの 組み合わせは

輝(かがやき)
綿谷 正巳



■避難をする人

問（議員） 各自自治体が判断して出す避難情報などは、昨年の豪雨災害の教訓を踏まえて、警戒レベルを組み合わせて発信する運用となり、全国的に始まった。これは、災害の切迫度を5段階に分けて示し、取るべき行動が直感的にわかるようにするものである。これから大雨や台風の発生に気を使う時期となるが、本市はどう対応していくのか。

答（市側） 警戒レベルを用いた発信は、本市の地域防災計画に定められた避難勧告等の発令基準を参考に、6月以降は、避難準備・高齢者等避難開始の発令に合わせて警戒レベル3を、避難勧告や避難指示の発令に合わせて警戒レベル4を、既に災害が発生しているときは警戒レベル5を発令することになる。今後、避難勧告等を発令する場合には、警戒レベルを合わせて発令し、市民がとるべき避難行動を的確に発信できるよう努めていく。

その他の
一般質問

住民自治の促進について／環境政策について

保育士宿舎借り上げ 支援事業の活用を

公明党
山本 智



■高まる保育士の需要

問（議員） 待機児童問題解消の政策に、保育士宿舎借り上げ支援事業がある。支援事業は、国や自治体が保育園に対して保育士の住宅費用を補助することで、保育士の人材確保などを進める政策であり、また、家賃負担を減らせるなど、働き始めの保育士を応援する制度でもある。本市でも支援事業を活用し、市内に住んでもらい、市民として活躍する保育士の確保に努めるべきと考えるが市の見解は。

答（市側） 保育士宿舎借り上げ支援事業は、保育士の就業の継続や離職の防止、働きやすい環境を整える効果が期待されている。待機児童解消のための保育施設等のハード面については、一定の整備が進んでいるが、保育士の確保については、依然課題が残っている。本市にとって支援事業の効果がどの程度期待できるのかを含め、他市での保育士の人材確保策について、まずは調査・研究していきたい。

その他の
一般質問

長岡京市上下水道ビジョン(経営戦略)について/京都府総合防災訓練について

歩行者の安全確保の 見通しは

日本共産党
浜野 利夫



■馬場1丁目交差点

問（議員） 先日、大津市で信号待ちの園児の列に車が突っ込んだ痛ましい事故では、多くの死傷者があったが、その後も全国で交差点事故が相次いで起きている。この事故の教訓から、道路の管理責任を問わず、信号機の有無に関わらず、長岡京市内の交差点と、その周辺の待機場所などの安全確保の調査や、計画的対策を打ち出すことが早急に必要だと考えるが、その見通しは。

答（市側） 本市では、5月13日から、市内の市道に限らず、制限速度が40キロメートル以上の幹線道路における主要な交差点において、向日町警察署とともに現場調査を行い、各交差点の安全対策を検討したところである。今後は、現在実施されている保育園や幼稚園などの安全点検調査結果と合わせて、向日町警察署と協議し、緊急度や優先度を見定めた上で計画的に対応していきたい。

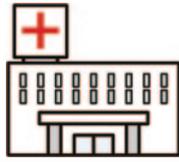
その他の
一般質問

続「市民生活最優先」の市政運営について/市民参画と協働の市政運営について/「市庁舎等再編整備基本設計案」について/ゴミ減量と「指定ゴミ袋制導入」について/「地域公共交通ビジョン」の後半5年間の公共交通について

専門家による検証結果の開示は

輝(かがやき)

宮小路 康文



■専門機関の検証を

問(議員) 今回の滝ノ町保育所の〇・157の事案において、保健所や保健所外部の専門家による分析と評価をおこない、市民の不安を緩和するためにも、結果を開示する必要があると考えますがどうか。

答(市側) この事案において、乙訓保健所が感染源や感染経路などに関する疫学調査を実施され、国立感染症研究所の協力を得てまとめた検証結果の報告を受けている。保健所からは、早い段階で保育所提供の給食が原因である可能性は低いとの見解を受けており、検証結果も同様であった。また、同一園内で約2カ月の間に園児6名が感染しているため、その関連性の検証が行われたが、結果として感染源や感染経路の特定には至らなかった。この結果を踏まえ、一連の経緯や対応策などの検証を行い、保健所とも協議をしながら、今後の開示や取り組み方針などについて検討し、丁寧に説明していきたい。

その他の
一般質問

教育現場のフォントについて

共生型福祉施設の今後の展開は

平成市民クラブ

寺嶋 智美



■向日が丘支援学校

問(議員) 本市では、京都府立向日が丘支援学校周辺を福祉エリアとして、老人福祉センター・竹寿苑、地域生活支援拠点、児童発達支援センターを一体的に整備し、福祉と教育の連携機能、福祉人材育成機能、地域共生機能を持たせた共生型福祉施設構想を京都府と共に計画している。今後の展開はどのようなものか。

答(市側) 今後は、京都府における向日が丘支援学校の施設整備に係る検討状況なども踏まえながら、土地利用に係る協議・調整や、本市としての都市計画策定に係る検討などを進めていく。基本計画の全体スケジュールでは、8年間で進めようとしているが、支援学校の整備方針や手法によりスケジュールが大きく変動するため、今後も京都府と密接な連携・協議を図りながら、事業化に向けて鋭意取り組んでいきたい。

その他の
一般質問

生涯学習に関して

議会
TOPIC 03

7月17日(水) 乙訓高校で主権者教育出前授業を行いました!

本市議会は、市民に開かれた議会をめざしさまざまな取り組みを実施しています。

その一環として、昨年の西乙訓高校に引き続き、今年度は乙訓高校と連携し、間もなく有権者となる高校生の主権者意識の向上を図るとともに、議会をより身近に感じてもらうことを目的として、主権者教育出前授業を実施しました。

生徒たちは、「長岡京市のここがちょっと…」と思うことを発表した後、議員との交流をかねて意見交換会を行いました。



市のいいところや危ない体験談、魅力アップへの提案などの発表



生徒と議員の交流では、議員への質問や、さまざまな話題による意見交換が繰り広げられました。

生徒の声



議員さんは堅苦しいイメージだったが、話してみるとそんなことはなく、自分たちのことを考えて動いてくれていると思った。選挙権を得た時には、自分の考えをしっかりと持って投票に臨みたい。

自分たちの発表に対して、議員さんがうなずいたり、メモをとったりしてくれてやりやすかった。意見交換では、議員さんの体験談や、昔はどうやったという話が聞けて楽しかった。

